

# 令和5年度 上川総合振興局北部森林室立木販売重点目標

上川北部 森林室

## 1 資源や技術力を活用した地域貢献

- ・道有林上川北部管理区の立木販売を通じ、森林認証取得の促進や認証製品の利用促進及び販路拡大を図るため、CoC認証取得事業者限定の一般競争入札の実施により森林認証材の普及促進を模索する。
- ・人工林から算出される木材（特にアカエゾマツ）について、木材の高付加価値化と需要及び販路拡大を図るため素材生産者と道有林野の販売に関する相互協定を締結し、産出される木材の高付加価値・販路拡大を図る。
- ・伐採から造林、保育までの森林整備の循環的なサイクルを円滑に進め、製材工場等の需要ニーズに応じた素材生産を行う林業事業者の育成を図る（伐採・造林一体型森林整備事業：協定販売）。

## 2 木質バイオマス燃料材の安定供給

- ・主に用材として利用価値を見込めない人工林について素材生産者と道有林野産物に関する相互協定を締結することとし、利用価値の低い木材を木質バイオマスエネルギー用の燃料材として有効活用を図る。また、当森林室が発注する森林土木工事及び路網開設・維持工事等で発生する林地未利用材の発生情報をホームページで公表するとともにオープンカウンター方式により販売し、木質バイオマス原料の安定供給利用の促進に努める。

## 3 販売目標量

（販売目標量について、上記取組に基づき記載する）

### （1）総販売量

- 49,700 m<sup>3</sup>
- 一般競争入札  
19,000 m<sup>3</sup>
- うち「CoC」限定入札（森林認証取得地域の場合）  
10,800 m<sup>3</sup>
- 協定販売（アカエゾマツ高付加価値）  
4,600 m<sup>3</sup>（うち新規 4,600 m<sup>3</sup>）

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
4,600m <sup>3</sup>	4,600m <sup>3</sup>	0m <sup>3</sup>	0m <sup>3</sup>

- 長期安定供給販売  
0 m<sup>3</sup>（うち新規 0 m<sup>3</sup>）
- 伐採造林複合協定型森林整備事業  
12,200 m<sup>3</sup>（うち新規 12,200 m<sup>3</sup>）
- その他販売  
13,900 m<sup>3</sup>

### （2）オープンカウンター販売 1 件

（注） 販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。